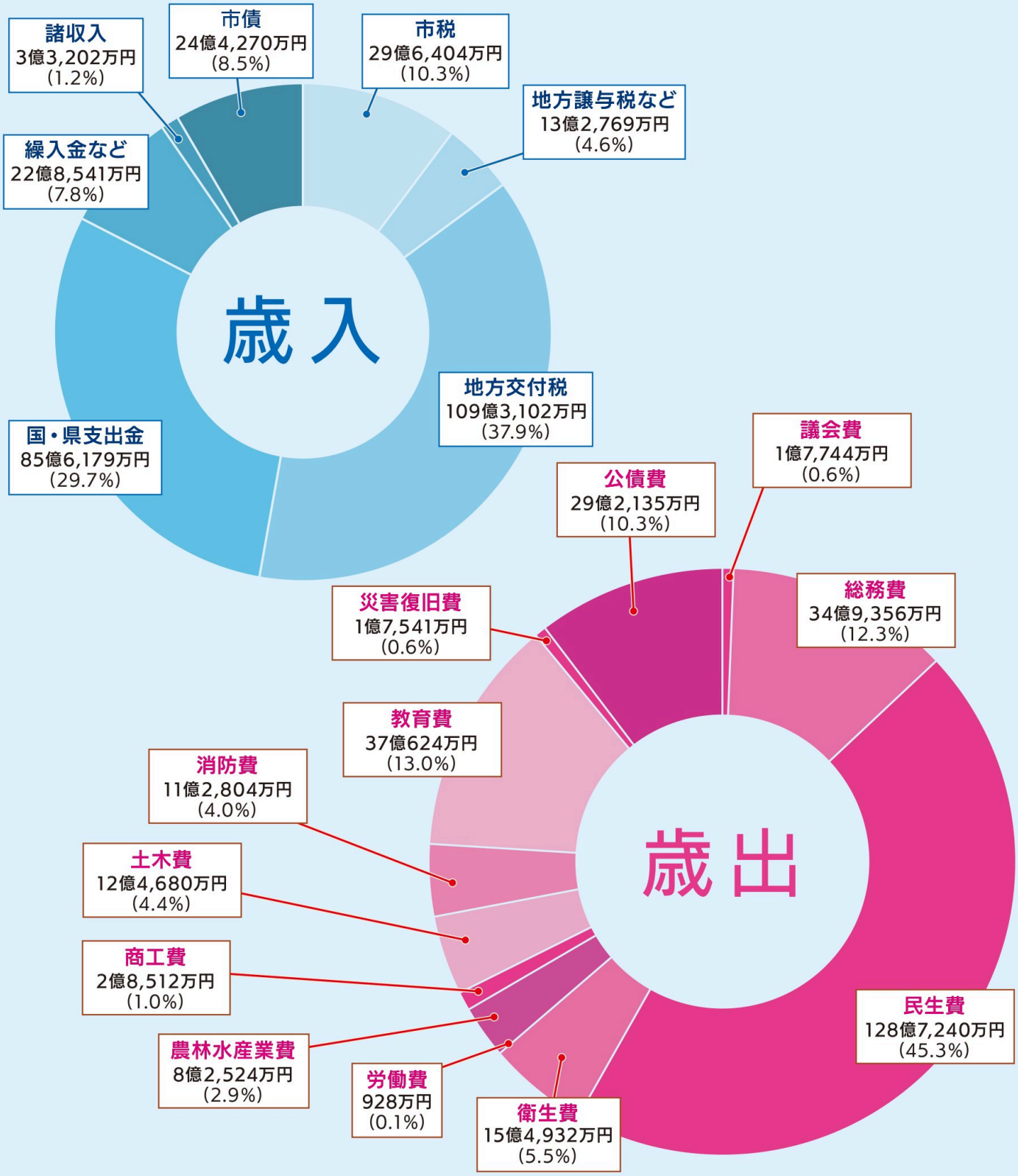
令和7年度
決算6会計を認定

\ 一般会計内訳 /



財政力、収支、自主財源から見る嘉麻市の今

		歳　入	歳　出	差引額
一般会計		288億4,469万円	283億9,024万円	4億5,445万円
国民健康保険事業特別会計		45億4,119万円	47億8,774万円	△2億4,654万円
後期高齢者医療特別会計		7億8,503万円	7億7,059万円	1,444万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計		3,153万円	3,078万円	75万円
介護保険事業特別会計	保険事業勘定	57億2,445万円	56億1,572万円	1億　872万円
	サービス事業勘定	5,296万円	5,296万円	0円
水道事業会計	収益的収支	6億2,492万円	6億4,938万円	△2,446万円
	資本的収支	4,260万円	5億1,144万円	△4億6,883万円

※千円以下切り捨て

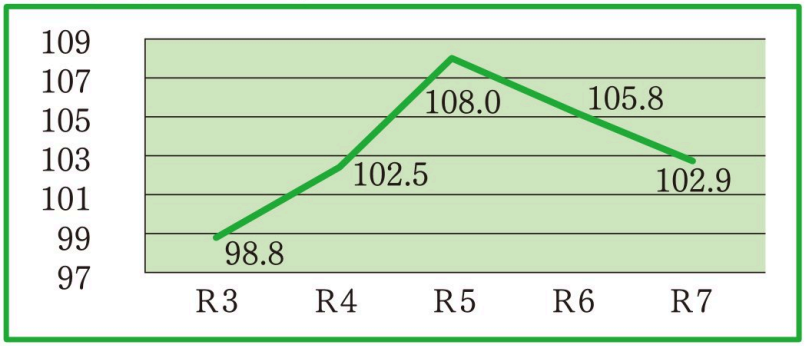
財政力指数



この指数が高ければ高いほど、自主財源の割合が高く、財政的に豊かということになります。

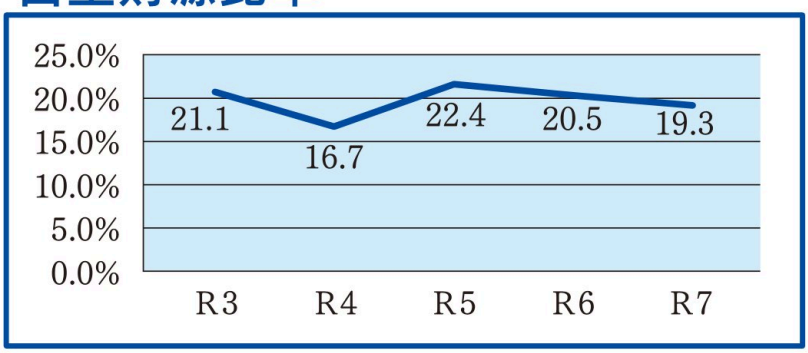
なお、財政力指数は1未満の場合、普通交付税が交付されます。

経常収支比率



人件費、扶助費、公債費などの経常的な支出が、市税や普通交付税などの経常的な収入に占める割合です。この比率が高いほど財政の柔軟性がないことになります。

自主財源比率



歳入全体に占める自主財源の割合です。自主財源は、地方公共団体が自らの権限に基づいて、自主的に収入できる財源であり、自主財源の割合が大きいほど、その団体の財政運営の自主性と安定性が確保できることになります。